

提言の狙い

現代における複雑な課題の解決に向け、次の政権選択選挙までに、国民が政策本位で政権を選択し、国民から負託を受けた政権が自ら掲げた政策を確実に実行できるためのインフラを整える。

国民が政策本位で政権選択を可能にする「マニフェスト選挙2.0」の仕組み

提言1. 国民による政策本位の政党選択・政権選択を実現しよう！
ー進化したマニフェスト選挙「マニフェスト選挙2.0」へー

「マニフェスト選挙2.0」の仕組みを作る！

【マニフェスト公開の義務化とマニフェスト評価プラットフォームの構築を！】

- 選挙の有無にかかわらず、与党の政策進捗の自己検証、野党の政権構想の明示、それを基にした具体的政策案をマニフェストに提示する等を政党法で義務化
- マニフェストの具体的工程と財源の明示のために、必要な財源等の行政情報の公開・提供、それを基に政策のKGI・KPIを設定
- 多様なステークホルダーによるマニフェスト評価検証のプラットフォームの構築
- プラットフォームによる評価検証の継続的な実施
- まずは、経済同友会が率先して、重要課題の提示や評価検証を実施

政党の政策立案の基盤を強化！

【実現可能な政策立案機能(組織・人材・資金等)の強化】

- 政党シンクタンクの設置、政策担当秘書の活用、政策人材の育成
- 政党交付金の使途の義務付け、政党シンクタンクへの寄付の税制優遇

【主権者の能動的選択を可能にする野党の政策立案支援】

- 政党交付金の一部の使途を野党の政策立案活動に限定する「日本版ショートマネー」の導入

国会で実質的な議論を行うための仕組み

提言2. 国会を変えていこう！

国民に開かれた政策論争を！

【重要課題に十分な議論】

- 通年国会制の導入、デジタルの活用による十分な審議時間の確保
- 逐条審議の導入、党首討論の定例化等による議論の活性化

参議院を「良識の府」へ！

【今すぐできる参議院改革】

- 「調査会」で中長期課題に対する超党派による合意
- 独立検証機関による行政監視機能の強化
- 決算委員会における決算審査の早期化、予算の実効性や効果の検証

政権が掲げた政策を実行するための行政組織をつくる仕組み

提言3. マニフェスト実行のための行政組織「ジョブ型内閣」に！

重要課題の解決に最適な組織に編成！

【政権のマニフェストに応じた柔軟な省庁再編】

- 総理に行政組織編成権を与え、柔軟な省庁再編を実施

職務に応じた人材を適材適所に！

【ジョブを遂行する政務三役の任命】

- 政務三役の役割の明確化、政治家のキャリアマップの作成、民間人材の積極的な登用

環境の変化に応じて、迅速に新たな制度の導入や改善・修正を可能にする仕組み

提言4. 政治・行政の進化のために

迅速な法改正を可能に！

【新法優先の原則の徹底・拡大】

- 「新法優先の原則」を徹底し、既存の法律・規制をオーバーライドできる仕組みの整備

アジャイルな政策形成プロセスを！

【行政の変革をスピードアップする仕組みを！】

- アジャイルな政策の決定と実行、PDCA サイクルの強化
- 既得権を打破するための国家戦略特区制度の活用

政策形成プロセスに多様な意見を！

【多様なステークホルダーの意見を政治に！】

- 次世代のステークホルダーの参画に向けた「未来選択会議」の活動の強化等、経済同友会としての取り組み

健全な民主主義に向けて国民

政党
提言1

国会
提言2

内閣
提言3

行政
提言4

国民